

地方創生

人口ビジョン

人口の動向

2010年：1万6,591人

<このまま推移すると…>

2040年：1万1,951人

2060年：8,804人

人口の将来展望

・合計特殊出生率(2010年は1.59)を
2040年 1.70
2060年 1.80 に上昇させる。

・人口移動は、2020年までに0.45まで縮小し、それ以降は0.25で推移すると仮定します。

目標人口

2060年 1万1,900人



長洲町 まち・ひと・しごと創生 総合戦略を策定しました。

長洲町の人口は、現在およそ1万6,500人。2040年には、およそ1万2,000人になると予想されています。急速な人口減少を緩和するためには、自然減と社会減双方への対応が必要となってきます。町では、これらの問題を解決するために長洲町「まち・ひと・しごと創生」総合戦略を策定しました。

総合戦略の基本理念

長洲町の総合戦略では、人を「金魚」に、町や行政区などのエリアを「金魚の水槽」に例え、さまざまな色や形をした金魚が、安全・安心な、住みよい個性ある金魚の水槽で生まれ、みんなに見守られながら生き生きと育つことができるように、また、外から移り住んでも、すぐに地域に溶け込み楽しく暮らすことができようなまちづくりに取り組めます。

に感動し、何度も足を運びたくなる、働きたくなる、住みたくなる、子どもを育ててたくなる環境を整えます。

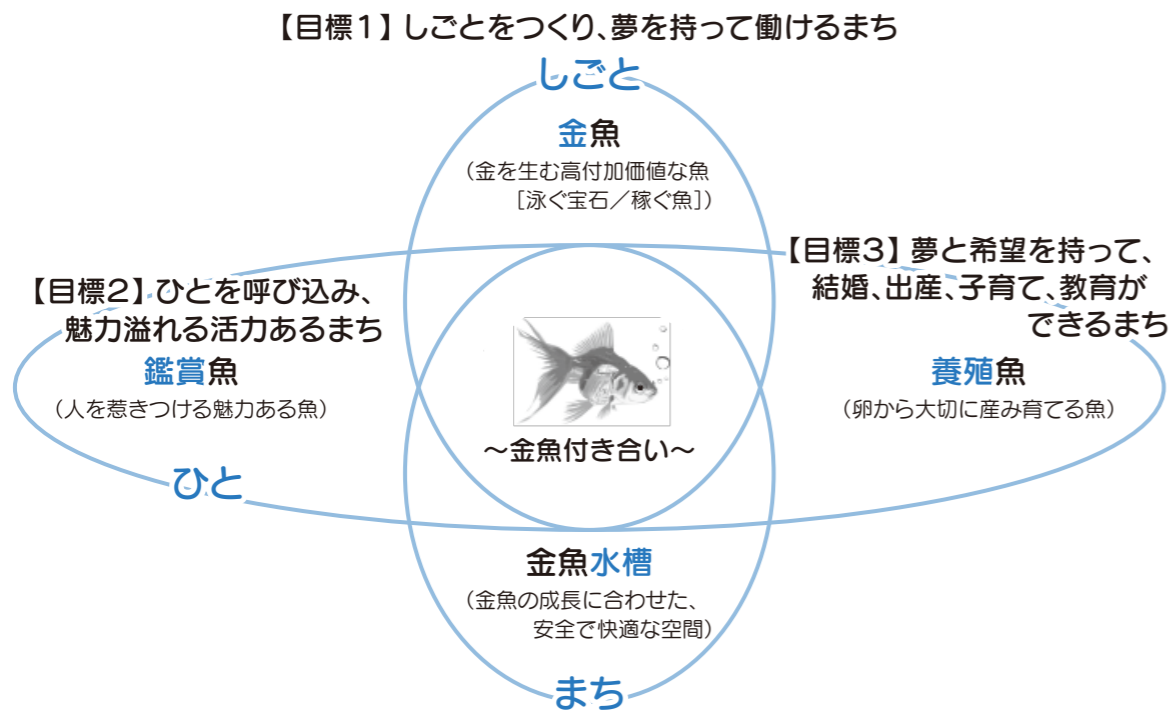
このことから、この総合戦略の基本理念を「住んでよし、働いてよし、ギョギョっと感動！ 永く住みたい、金魚の町“ながす”と位置づけ、コンセプトは、「金魚(近所)付き合い」とします。

この基本理念とコンセプトに基づき、各種施策を展開し、「金魚の町“ながす”」を全国にPRするとともに、金魚を通じて町民が互いの絆を深めながら郷土愛を高め、自信と誇りに満ちた町を築きます。

基本理念

働いてよし、ギョギョっと感動！ 金魚のまち “ながす”

長洲町における「まち・ひと・しごと」創生 4つの基本目標の位置づけ



4つの基本目標

△目標1▽

- ・町内企業の活性化
- ・新しいビジネスへの支援
- ・新産業、新技術の育成
- ・地域の資源を活かした農林水産の振興
- ・伝統産業「金魚」の再生

△目標2▽

- ・都市圏などからの移住の促進
- ・求職者に応じた雇用の確保と働きやすい環境づくり
- ・観光の振興による入込人口の拡大

△目標3▽

- ・安心して子どもを産み育てられる社会の実現
- ・保育サービスなどの充実
- ・夢に向かい確かな学力、豊かな人間性を育む
- ・男女がともに活躍・参画する社会づくり

△目標4▽

- ・快適に生活できるまちの実現
- ・ふるさとづくり
- ・高齢者・障がい者がいきいきと生活できる健康なまちづくり
- ・地域コミュニティの強化
- ・災害に強いまちづくり
- ・環境に配慮したまち
- ・自治体間の連携を推進

総合戦略3つの視点

1「長洲町の産業を元気にすること」
～産業の活性化を目指す～

2「長洲町に住む人・
移ってくる人を増やすこと」
～人口の社会増を目指す～

3「長洲町で子どもを産み
育てる人を増やすこと」
～子育て環境の向上を目指す～

コンセプトは
金魚(近所)付き合い

総合戦略の

住んでよし、 永く住みたい、